

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が発行する
ソーシャルボンド(社会貢献債)への投資について

沼津信用金庫(理事長:紅野 正裕)は、この度独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」)が発行するソーシャルボンド(社会貢献債)に投資いたしました。

ソーシャルボンドとは、調達された資金が基礎インフラ開発や社会サービスへのアクセス改善等の社会課題への対応を目的とした分野への投融資に利用されることを前提として発行される債券です。

JICAは日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う機関として、開発途上国への国際協力を行っています。2016年9月から社会貢献債としてJICA債を発行し有償資金協力事業の資金の一部に充てています。JICA債の発行は日本政府のSDGs実施指針にも明記された取り組みとなっており、開発途上地域の経済・社会の開発、日本及び国際経済社会の健全な発展のために活用されています。

2019年11月、当金庫を含む静岡県東部4信用金庫(三島・富士宮・富士・沼津)は「共同SDGs宣言」を公表し、「環境」「社会」「経済」の分野において連携して活動を行い、地域社会の経済活動や住民の皆様の生活と健康の持続的発展に協調し、共通理念を持ち協働して地域に発信していく事で地域金融機関としての役割を明確化いたしました。今後もSDGsの理念のもと信用金庫のもつ役割と機能を発揮し、地域社会の好循環を創出してまいります。

当金庫は、環境や地域・社会と共生し地域の皆様と安定的な成長を共有していく観点から環境問題の解決をはじめとした数々の社会貢献に資するESG投資を重要な投資活動と考えており、当債券への投資もその一つと位置付けています。

今後も、社会公共性・投資採算性を踏まえESG投融資を推進することで、お客様・地域社会の皆様の生活環境・安全性の確保・持続可能な社会の形成に地域金融機関として寄与してまいります。

